



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 2005 EXPO 2005 AICHI 国・愛知

ポルトガルパビリオン イベントプログラム

ユキ・ロドリゲスによるピアノリサイタル

ポルトガル - 日本、音楽による出会い

日本とヨーロッパの最初の出会いは、1542年ポルトガルの航海士が日本の土地に上陸したときのことです。また、日本に最初に行ったヨーロッパの楽器と音楽家もポルトガルからでした。この最初の出会いを記念し、ユキ・ロドリゲスをご紹介します。ユキ・ロドリゲスはポルトガル人の父と日本人の母を持つ、18世紀から現代にいたるポルトガルおよび日本の作曲家によるピアノ作品の解釈を行うピアニストです。ユキ・ロドリゲスはポルトガルと日本の民族音楽に刺激を受け作曲した曲を披露する予定です。音楽をお楽しみいただき、私たちともにこの出会いの喜びを感じていただけることを願っています。



開催日：5月24日

時間：20:00～21:00

場所：ウェスティン・ナゴヤ・キャッスル 青雲の間

ゆき ロドリゲス Yuki Rodrigues

「リスボン国立音楽大学ピアノ科卒業。ローマにてカルロ・ゼッキの愛弟子であるファスト・ザドラに師事。ポルトガルのマリア・カンピーナピアノコンクールにて特別賞受賞。若い音楽家のための音楽コンクールにて第3位。イタリア・ブレチアでのピアノ協奏曲コンクールにてソリスト賞受賞（1999年）。ポルトガル、イタリア、日本、スペインなどで活発なコンサート活動（ソロ及び室内楽）を行い、ポルトガルとイタリアではオーケストラと共演。2004年2月、在日東京ポルトガル大使館、大阪日本ポルトガル協会の招きにより、ヴェンセスラウ・デ・モラエス生誕150周年記念コンサートを行い、大成功を収めた。2004年10月にポルトガルと日本のピアノ作品集の初CD録音を行った。2005年5月に、ポルトガル政府代表芸術家として愛知万博での演奏の為に来日する。」



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 2005 EXPO 2005 AICHI 愛・地球博

ポルトガルフードフェスティバル

5月23日(月)

お祝いはナショナル・デーの前夜、ポルトガル・フェアおよびフードフェスティバルの開催とともにウェスティン・ナゴヤ・キャッスル・ホテルで始まります。ポルトガルの民芸品、新しいエコ製品、そして名物料理が販売され、旅行者のための情報も準備してあります。ポルトガルワインと料理が2つのレストランでお楽しみいただけます。(コーヒーショップ「プローニュ」およびコンテンポラリー・ダイニング「クラウン」)

ポルトガル料理は、各国の要人、王族などがポルトガルでのつかの間の休日楽しむ、閑静で美しいブサコ・パレス・ホテルのシェフ、フェルナンド・エレノが腕を振ります。同ホテルには昨年徳仁皇太子殿下が宿泊されました。ポルトガル・フェアおよびフードフェスティバルは5月30日まで開催されています。

「ブサコ 独特!ポルトガル最後の王族が狩猟に使用した宮殿は、現在世界で最も美しく歴史のあるホテルの一つとして知られています。エレガンスと快適の伝統のランドマーク、このマニユエル・ゴシック様式の宮殿は、見事な庭園と何世紀も昔にカルメル会の修道士たちによって植えられた木の茂る壮大な国定林ブサコの森に囲まれています。」



開催日：5月23日～5月30日

場所：ウェスティン・ナゴヤ・キャッスル・ホテル：

- コーヒーショップ「プローニュ」

EXPO 2005 AICHI JAPAN
480-0001
私書箱 49
愛・地球博 長久手会場
ポルトガルパビリオン
電話：(0)561-64-7208
ファックス：(0)561-64-7209
aichi2005@portugal.or.jp
www.portugal-aichi2005.com



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 2005 EXPO 2005 AICHI 愛知 2005

- コンテンポラリー・ダイニング「クラウン」

協賛：フィナグラ・エルダデ・ド・エスポラオ（www.esporao.com）

ブサコ・パレス・ホテル*****（www.almeidahotels.com）

ソグラベ・ヴィーニオス・ドウ・ポルトガル（www.sogrape.pt）

ポルトガルファドのパフォーマンス

「ファドは人間の悲劇、つまり苦しみ、哀愁、その運命に直面したときに感じる大切なことを表現する音楽だと私たちは思っています。ファドの長い伝統は、これらの感情を音にするいくつかの“定式”を生み出しました。ファドはリスボンの街の歴史の伴奏として、モーラリア、アルファーマ、パイロ・アルト、アルカンタラなどの古い街で発展しました。国と対立をテーマにこの伝統音楽は、貴族、放浪者、船乗りなどに歌われ、その多くは激しい苦しみを表現しました。

この音楽は、プロの資格を持った音楽家のみが歌うことができるファドの家で、徐々にその地位を確立しました。アマリアはこれらの初期のファドシンガーのうち最も特徴的なシンガーで、この音楽を最初に海外に紹介しました。舞台での存在感、生粋のエンターテイナーであるアマリアは、黒いドレスとショールをまとい歌う伝統的ファドシンガーの典型的イメージを残しました。彼女のかつての家は現在、訪れる価値の高い博物館となっています。」

ファドシンガーのニュー・ジェネレーションは、2003年BBCラジオ・アワード・フォー・ワールドミュージックを受賞したマリーザのように新たなシンガーを育てました。その他の新進のファドシンガーたちは、ミージア、カマーネ、マファルダ・アルナウス、カティア・ゲレイロやカルラ・ピレスなどです。

このポルトガルのお祝いにおいて、**カルラ・ピレス**はたった一人のパフォーマーではありません。男性シンガーの**マニュエル・カルドソ・ド・メネゼス**はファドのもう一つの側面を人気のパブとボヘミアン・ナイトの古い伝統に近づけてくれるでしょう。

ホセ・ブランカはポルトガル・ギターの大巨匠で、伝統ギターを演奏する**ジョアオ・マカド**と共に、シンガーの伴奏のみならず、様々なギターを演奏することでしょう。



開催日：5月22日

EXPO 2005 AICHI JAPAN
480-0001
私書箱 49
愛・地球博 長久手会場
ポルトガルパビリオン
電話：(0)561-64-7208
ファックス：(0)561-64-7209
aichi2005@portugal.or.jp
www.portugal-aichi2005.com



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 2005 EXPO 2005 AICHI 愛・地球博

時間：午前 10:00

場所：オハル市市民会館

開催日：5月24日

時間：14:30、15:00、16:00

場所：愛・地球博グローバル・コモン4 パブリックイベントステージ

その他のパフォーマンスについては、ウェスティン・ナゴヤ・キャッスル・ホテルにお問い合わせください。

ポルトガルワイン試飲

ICEP - ポルトガル貿易振興庁のポルトガルワイン・ベスト・ソムリエ・コンテストの優勝者、モリ ヤスノリ氏によるポルトガルワインの試飲



世界最高のワインの一つはポルトです。英語では、ポートまたはポートワインと呼ばれます。照りつける夏の太陽の下ドウロ・ヴァレーで育ったブドウに、短期間ブランデーを加え糖分の発酵を止めることで比較的高いアルコール分を持ち、その結果ポルトには果実の自然な香りと甘さが保たれます。

このイベントではフェレイラおよびサンデマン - ソグラベ所有 - の上質ワインが紹介されます。

しかしポルトガルが提供するすばらしいワインはこれだけではありません。ポルトガル北部のミーニョのヴィニョ・ヴェルデやドウロのフルボディ・ワインから南部のアレンテージョのワインまで様々なワインがあります。ポルトガル中部のダンなどの地区でも保護を受けた称号を持つ高品質のワインが製造されています。



このフェスティバルでは、ソグラベからドウロおよびダン地域のリザーブ・ワインが用意され、フィナグラはエシュポラン - 最高のアレージョ・ワインの一種 - を紹介します。

リスボンの南 180km、アレージョ地区の中心部、レゲンゴス・デ・モンサラシュのエシュポラン・エステートは最高品質のワイン製造を目的とし、フィナグラにより買い取られました。エシュポラン・エステートは、現在ワールド・ワイン・ツアーに盛り込まれている最高のワイン観光プロジェクトを提供しています。ワイナリーからも近く、巨大なダムに面する丘の上の敷地に建つエステートは 400 ヘクタールのブドウ畑に囲まれています。建物は周囲の環境にとけ込むよう設計され、ワインバー、試飲ルーム、地元の料理が楽しめるレストランが併設されています。

ポルトガルのワインについてもっとお知りになりたい方は、日本人ソムリエ、モリ ヤスノリ氏によるワインセミナーおよび試飲会（愛・地球博ポルトガルパビリオンにて開催）にご参加ください。

開催日：5月23日および24日

時間：午前 11:00、12:00、午後 1:00、2:00、3:00（両日とも）

場所：愛・地球博ポルトガルパビリオン イベントルーム

EXPO 2005 AICHI JAPAN
480-0001
私書箱 49
愛・地球博 長久手会場
ポルトガルパビリオン
電話：(0)561-64-7208
ファックス：(0)561-64-7209
aichi2005@portugal.or.jp
www.portugal-aichi2005.com



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 2005 EXPO 2005 AICHI 愛・地球博

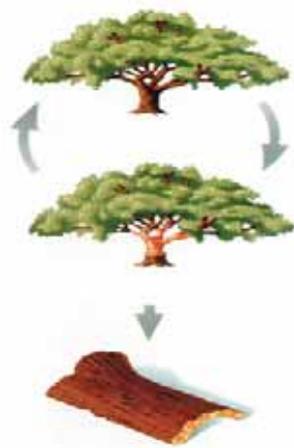
協賛： ポルトガル貿易振興庁、
フィナグラ・エルダデ・ド・エスポラオ（www.esporao.com）
ソグラペ・ヴィーニオス・ドゥ・ポルトガル（www.sogrape.pt）

このイベントは上記のスケジュールにしたがい一日に5回開催し、一回の定員は20名様となっています。ポルトガルパビリオンの受付で事前にご予約ください。

コルク材と製品

アモリム・コルク社によるセミナープレゼンテーション

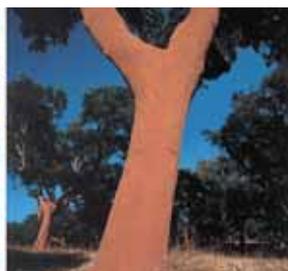
「コルクはコルク樹の樹皮から作ります。コルクは何百万ものコルク細胞で形成され、そのひとつひとつが小型の防音、断熱材、圧力および衝撃吸収剤としての役割を果たします。コルクは、ポルトガルおよび西地中海沿岸の6カ国、スペイン、フランス、イタリア、モロッコ、アルジェリア、チュニジアにしか存在しません。ポルトガルには世界の30%を占めるコルク樹の森があり、コルクの51%を製造し、全コルク製造のおよそ75%を加工します。100%自然製品のコルクは、一本の樹木をも傷つけたり伐採したりすることなく収穫されます。コルクは究極の環境に優しい製品です。」



これは、アモリム・コルク社による商、工、建設業界向けに3回行う最初のコルク材および製品のセミナープレゼンテーションで、愛・地球博ポルトガルパビリオンのイベントルームで開催されます。アモリム社はコルク製品を抽出、製造する最も有力な企業グループの一つです。セミナーにおいて同社はポルトガルのコルクの森、コルク材の加工と特徴についてプレゼンを行い、様々なコルクの最終利用方法とそれに関連する企業について説明します。このセッションでは主にコルク壁およびフロアー・カバーリング（アモリム）、住居用品、オフィス製品（コルクネイチャー）についての説明を行います。

さらに詳しい情報についてはこちらをご覧ください。：

www.cai.amorim.com / www.corknature.com



EXPO 2005 AICHI JAPAN
480-0001
私書箱 49
愛・地球博 長久手会場
ポルトガルパビリオン
電話：(0)561-64-7208
ファックス：(0)561-64-7209
aichi2005@portugal.or.jp
www.portugal-aichi2005.com



PORTUGAL
ポルトガル

人類、自然と歴史
MAN, NATURE AND HISTORY
O HOMEM, A NATUREZA E A HISTÓRIA
JAPÃO 2005 EXPO 2005 AICHI 愛・地球博

開催日：5月25日

時間：11:30～13:30

場所：ポルトガルパビリオン イベントルーム

企業名：アモリム・コルク社

連絡先：AJCのマエダカツヒコ氏：03-5216-735 e-mail：maeda@amorim.co.jp
